

おのがわ 小野川



ここの小野川も旧七里村（明治9年の7村合併）である。小野川は、本在家と並んで南向きの開けた地形で、奥行きもある。現在の住所表記は「七里甲」で、66世帯135人が暮らしている。

地区は「上小野川」と「下小野川」に分かれている。さらに下小野川には「三滝」という独立した区がある。「区」というより「所屬」といった方が正確かもしれない。聞くと、三滝地区は、今から80年ほど前にできたらしい。もちろん区長も存在していて、下小野川の小高い山を少し登ったところに氏神様も祀られている。この氏神様は高岡神社からの分詞だそうだが、小野川地区全体の氏神様の名も「三滝神社」という。この三滝神社は、七里小学校の北側の山の入り口辺りにあり、大国主神（オオクニ



小野川地区全体の氏神様



高岡神社から分詞された三滝地区の氏神様



懐かしいポストは今も現役

ヌシノカミ」とその息子である事代主神（コトシロヌシノカミ）を祀っている。古くは御滝大明神とも呼ばれていたという。また「ミタケテン（おそらく御滝天であるう）」と記してある古文書もある。

さて、小野川の歴史は古い。勝賀野川の下流に位置し、四万十川との合流地点にもあたることから、土地は肥え、古くから農耕が盛んであった。室町・戦国期の記録には「尾野川村」と記載しているものもあり、土豪・小野川氏が本拠地としていて、村内にはその一族が居住していたとされる。ただ、近隣には有力な豪族であった東氏や西氏などいたため、小野川村全体の支配は彼らと分け合っていたようだ。

江戸期に入り、山内氏の知行地となつてからも農耕は盛んで、人口も常に100人以上はいたらしい。地区には明治の初めまではお寺もあった。

現在の小野川地区のシンボルは七里小学校である。登下校時には地区住民たちから「気をつけてね」と声がかかり、子どもたちから「はい」と返ってくる。児童数は少なくなったが、その存在感は地区住民たちの「心の張り」になっているという。

(1月31日)	人口	前月比	出生	死亡	転入	転出
男	8,671	-7	男 4	16	18	13
女	9,725	-6	女 7	16	24	21
計	18,396	-13	計 11	32	42	34
世帯数	8,657	6	(1月中の届出)			

四万十川の 水質状況

	適正值(mg/l)	2月10日
リン酸	≤ 5.0	0.144
硝酸	≤ 0.5	測定範囲以下
アンモニウム	≤ 5.0	測定範囲以下
アニオン活性剤	≤ 1.0	0.050
化学的酸素消費量	≤ 10.0	測定範囲以下

調査：大正（吾川）
資料：四万十高校自然環境部

● 四万十町ホームページアドレス <http://www.town.shimanto.lg.jp/> ●

※ 広報「四万十町通信」はホームページでも、ご覧いただけます。(pdfファイル)